

陳情第 2 号

銭座防空壕の保存に関する陳情書

2018年2月 27 日

長崎市議会議長  
野口 達也様

陳情人

住所 長崎市浜平1-7-2

団体名 西坂・銭座小学校区勤労者協議会

会長 中村住代

連絡先 電話



議会事務局議事調査課



## 銭座防空壕の保存に関する陳情

### 1 陳情の趣旨

この度、九州新幹線長崎ルート宝町トンネル出口における工事現場において、建物解体により11ヶ所の防空壕がまとまって顕在化しました。

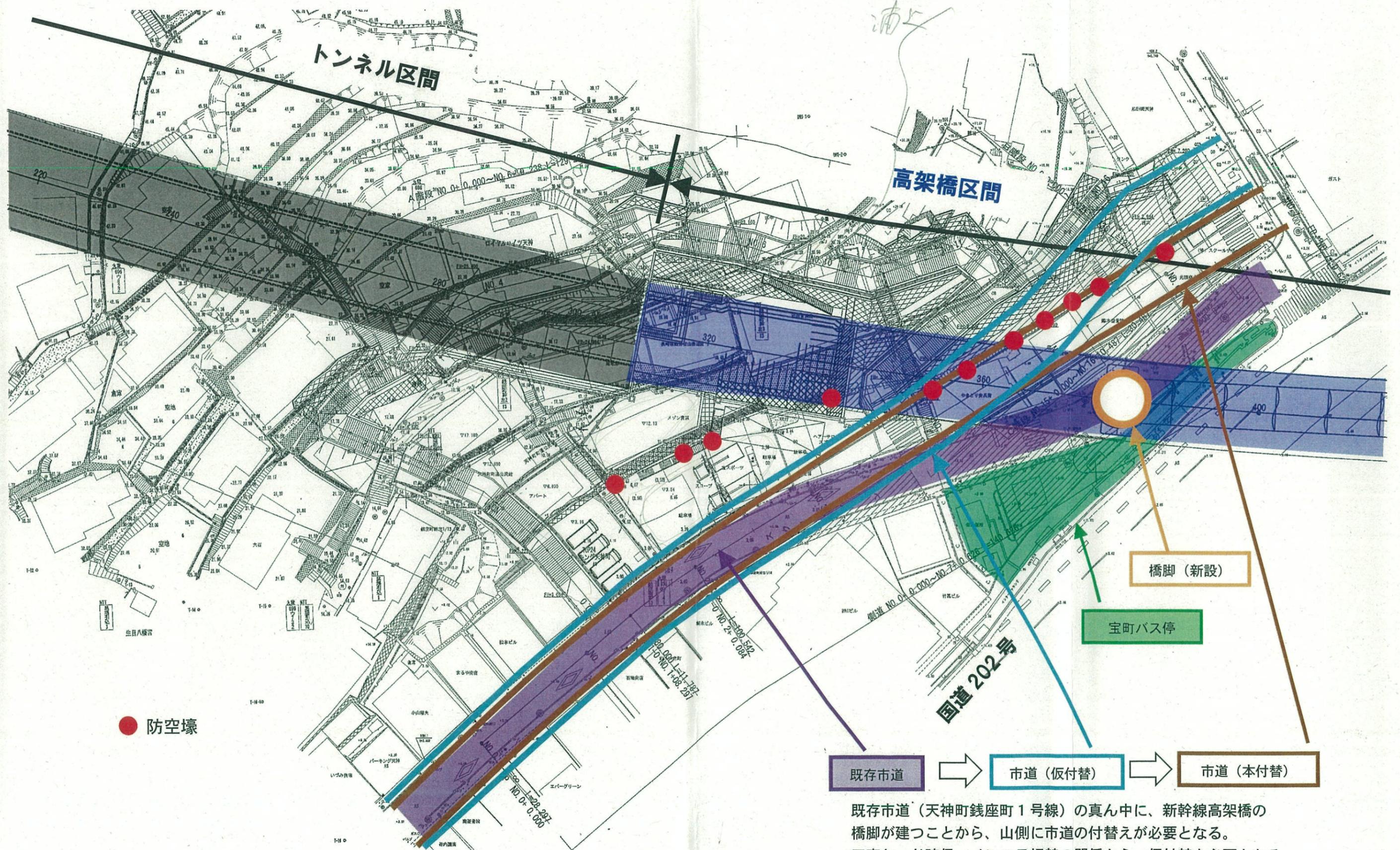
銭座地区は爆心地から南に約1, 2キロメートルから2キロメートルという近距離にあり、原子爆弾により多くの尊い人命が失われ、家屋は倒壊、焼失しました。1, 5キロメートルの地点にあった当時の銭座国民学校では、校舎は勿論、教職員・児童あわせて約500名もの人々が犠牲になりました。今回顕在化した防空壕にも多くの住民が避難したであろう事は想像にかたくありません。防空壕内で爆死した悲劇がありました。

私達勤労協は、西坂銭座地域で「平和」を旗印に、「住みよいまちづくり」を目指して活動していますが、「戦争」や「原爆」のむごさを次世代に伝える貴重な「戦争遺構」として保存し、子ども達の平和教育のために活用していただきたく陳情いたします。

### 2 陳情項目

- ①防空壕群の保存と活用
- ②隣接地に(仮称)説明板の設置

平面図



既存市道 → 市道 (仮付替) → 市道 (本付替)

既存市道 (天神町銭座町1号線) の真ん中に、新幹線高架橋の橋脚が建つことから、山側に市道の付替えが必要となる。工事ヤード確保、インフラ切替の関係から、仮付替も必要となる。